

資 料 提 供
平成29年1月18日
自 然 環 境 課
内 線 : 4 2 6 6
外 線 : 076-225-1477

死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子検査結果について

1月15日に加賀市で回収されたヒシクイ1羽の死亡個体で、遺伝子検査の結果(国立環境研究所)、A型鳥インフルエンザウイルス「陽性」であることが、本日、確認されました。

県内で、野鳥から陽性反応が出たのは初めてです。

確定検査は、環境省が鳥取大学で実施予定、検査結果の判明まで1週間程度かかる見込みです。

※現時点では、遺伝子検査により陽性が確認されたものであり、病性は未確定、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたわけではありません。
※確定検査の結果、陰性となることもあります。

1 死亡個体の確認地点 加賀市

2 経緯

1月15日 ヒシクイ1羽の死亡個体を回収、簡易検査の結果、陰性

18日 環境省より遺伝子検査の結果、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が出たと報告あり

※同日、環境省が個体確認地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定

3 今後の対応について

明日以降、死亡個体の確認地点を中心とする半径10km以内における野鳥監視重点区域内において野鳥の監視パトロールを実施

【留意事項】

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には、手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要がありませんので、冷静な行動をお願いします。

【取材について】

現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から厳に慎むようお願いします。